

春の夢

登場人物紹介

主人公哲之の青春時代を彩る
主な登場人物を紹介します。

磯貝 晃一

哲之のアルバイト先の先輩。心臓の持病を持っている。両親が相次いで事故死したことに不安を感じ、キンの存在を気にかけている。

井領 絹子

哲之の母。悪質な債権者から逃れるため、哲之と離れて暮らしている。キタ新地の小料理屋で住み込みで働いている。

中江 百合子

哲之とアルバイト先で知り合う。白系ロシア人のような美貌を持ち、哲之に好意を寄せる。

井領 哲之

大学4回生の春、大東市の古いアパートで釘が刺さったまま生き続ける蜥蜴(とかげ)、キンと共に住むこととなる。亡き父が残した債務を引き受けざるを得ない状況の中、悪質な債権者が連れてきたやくざに追いたてられながらも、逆境の日々を懸命に生きる。

中沢 雅見

哲之と同じ大学に通う同級生。本町のビジネス街のど真ん中にある父親のビルに住んでいる。親鸞の「歎異抄」について哲之と口論となる。

大杉 陽子

哲之のひとつ年下の恋人。哲之のアパートに通い、食事の用意など甲斐甲斐しく世話を焼く。石浜と出会い、心が揺れる。哲之との結婚を考えている。

沢村 千代乃

陽子の知り合いの老婆。京都の修学院離宮の近くにある静かな庭に囲まれた家に住む。「茶は、生と死を眺き見る儀式だ」と語る。

石浜 徳郎

梅田新道に事務所を持つ、前途洋々たる28歳の建築デザイナー。陽子を連れてアメリカで勉強したいと思っている。

ラング夫妻

フリードリッヒ・ラング
バーベリ・ラング

哲之がアルバイトをしているホテルの客。哲之と陽子に京都の観光案内を頼む。その途中、沢村家の茶室で自殺未遂をする。